



学校だより

福島県立大笹生支援学校

NO.2 R4.7.20

1学期の活動報告



小学部、中学部、高等部の学習の様子をお伝えします。

小学部

小学部3・4年1組、5・6年1組の児童と福島市立大笹生小学校の5年生が本校体育館で交流及び共同学習を実施しました。

風船リレーやボール転がしリレー、「ツバメ」の曲に合わせたダンスなどをして交流しました。ボール転がしリレーでは、一人一人が手にした竹の樋に様々なボールを伝えてゴールまで運びました。お互いに呼吸を合わせたり、樋のつなげ方を工夫したりしながら、



協力して取り組むことができました。うまく運ぶコツを問われると、「ビー玉のように重い球は早く転がってしまうから、樋をあまり傾けてはいけない。」「そう。ちょびっとだけ斜め。」と発言して、みんなでアイデアを共有して学び合う場面も見られました。



中学部

「総合的な学習の時間」で「地域について知ろう」をテーマに、地域交流（5・6月）の学習を行っています。1学年の地域交流では、十六沼公園、塩釜神社、道の駅ふくしま校周辺施設の調べ学習をしました。道の駅ふくしまの見学では生徒から、「なんで高速道路出口の近くにできたの？」等の疑問が出されました。生徒自身が次の課題を見付け、さらに学習を深めようとする様子があり、実りある学習になりました。また、12月には、福島市立平野中学校との交流及び共同学習を行う予定です。今年度はタブレット端末を活用して画像や映像を記録したり、アプリを使って動画編集したりするなど、情報機器を有効に活用しながら学習を進める学級も増えています。



高等部

高等部では、6月6日（月）から17日（金）の2週間にわたり、前期産業現場等における実習を実施しました。1年生は校内で、2、3年生は主に校外での実習を行いました。1年生は長時間集中して仕事に取り組むことの大変さや働く上での基本的なマナーやルールを知ることができました。2、3年生は卒業後の自分の生活を意識し、様々な作業や仕事を体験し、あいさつやコミュニケーションをとることの大切さや仕事の手順、働く時の態度等を学ぶこ



とができました。今回の実習の反省・評価を11月に実施する後期産業現場等における実習に生かし、よりよい進路選択へ繋げていきたいと考えています。

職員研修の様子

本校では今年度より研究テーマを「学習や生活の場で活用できる！生きて働く力を育む授業づくり」とし、児童生徒が身に付けた力を様々な場面で発揮できるように姿を目指して日々の授業づくりに取り組んでいます。6月2日には国立特別支援教育総合研究所より、北川貴章先生を講師にお迎えして研修会を行いました。教員同士で学び合い、授業の質を高めて児童生徒のより良い資質・能力を育むことができるよう研修に努めています。



(学校だよりは HP でもご覧いただけます。QR コード

